

《提案型協働事業 検証シート》

協働事業の概要	事業名称	おおぞら広場バリアフリー化完成プロジェクト		
	団体名	出会いの島(豆島)プロジェクトチーム	市所管課	道路維持担当
	事業の趣旨・内容	東園田町8丁目に位置する「おおぞら広場」は景観的に優れた市内有数の広場として市民に広く愛されており、特に広場の先端部からの眺望は素晴らしく、猪名川と藻川の合流点にある通称「豆島」を見る人気スポットとなりつつある。しかし、残念なことにお年寄りや車椅子を利用する方々の利用が困難な現状にあるため、ハンディキャップのある市民が「おおぞら広場」を利用できるように、車椅子や乳母車が先端部までアプローチできる簡易な通路を市民ボランティアの手によって敷設する。		
	協働における行政の役割	設計の指導、施行許可、管理業務 等		
協働における市民の役割	設計、資材手配、ボランティア募集、維持管理 等			

■ 市民と行政のこれまでの動き ■

年月	できごと
平成27年 1月	・設計計画、見積
2月	・団体と市所管課の事前打ち合わせ(2/24)
4月	・協定締結・補助金交付決定 ・資材の購入
5月	・ボランティア決定 ・起工式
7月	・事業実施、工事着手 ・完成、供用開始 ・維持管理体制開始
平成27年 9月	協働終了

■ 評価会議における意見など ■

1	・維持費をまかなう方法を考えてはどうか。今後も除草作業等の維持管理に取り組み、場所の魅力を団体がみずからすすんで発信してほしい。
2	・自分の団体内だけで運営していこうとすると限界があるので、環境・リサイクル・防災など色々な団体と連携してほしい。次の利用方法を考えているならば、周辺施設や企業とタイアップするなどアイデアを出してほしい。
3	・バリアフリー化という面で協働の効果がでている。場所の整備ができたので今後は利用してほしい。

■ 所管課意見 ■

評価会議からの提案事項	意見
—	前回と同様、特に問題なく成果をあげることができた。

■ 市 総括 ■

<p>本事業では団体が設計・事業実施・維持管理を行い、市が設計指導や許認可・管理業務を行うという協働の形式だったが、団体と市との明確な役割分担のもと、広場のバリアフリー化という事業成果をあげることができている。今後は他の団体や事業者などにも関わってもらいながら、今回の事業で完成した広場を活用した協働事業の展開を期待したい。</p>
--

以上